

令和2年度
第3回 台東区区政サポーター
アンケート調査 報告書

「新しい日常取組宣言店舗応援事業及び消費行動について」

「世界文化遺産『国立西洋美術館』の周知啓発・活用について」

「台東区制作番組について」

台東区 総務部 広報課

令和2年度 第3回 台東区区政サポーターアンケート

区政サポーターとは

資 格：公募による区内在住の中学生以上の方

活動内容：区政に関するアンケートを郵便または電子メールで回答する。

任 期：2年（平成31年4月1日～令和3年3月31日）

目 的

区政サポーターの方に区の課題となっている「施策や事業に関するアンケート」に回答していただくことによって、区政への参加を図ります。また、アンケート結果は区民の貴重なご意見として、今後の区政運営の資料といたします。

内 容

- (1) 新しい日常取組宣言店舗応援事業及び消費行動について
- (2) 世界文化遺産「国立西洋美術館」の周知啓発・活用について
- (3) 台東区制作番組について

調査概要

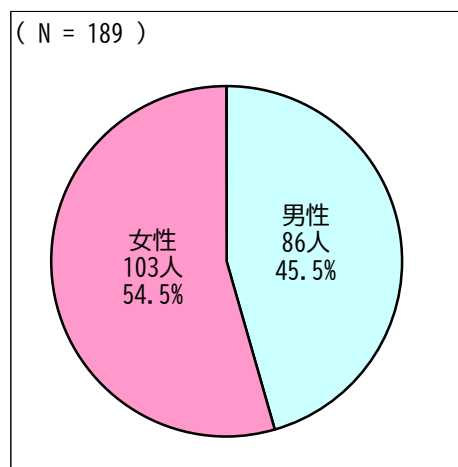
調査期間 令和2年9月29日（火）～10月12日（月）

対 象 区政サポーター200名（郵便によるサポーター71名、Eメールサポーター129名）

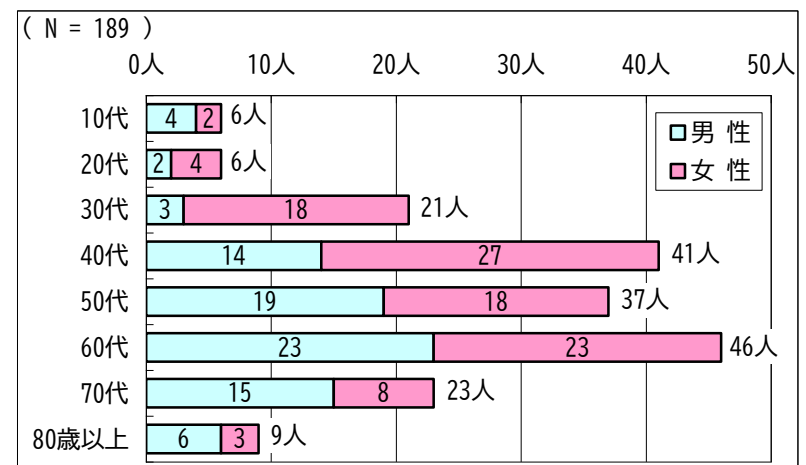
有効回収数 189名（郵便67名、Eメール122名） 有効回収率94.5%

回答者の属性

性別



年代別



地区別（区民事務所・分室・地区センター）

地 区	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中
男 性	0人	3人	9人	9人	9人	5人
女 性	8人	1人	2人	16人	13人	5人
計	8人	4人	11人	25人	22人	10人
地 区	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川	合計
男 性	3人	14人	12人	14人	8人	86人
女 性	12人	11人	7人	16人	12人	103人
計	15人	25人	19人	30人	20人	189人

職業別

職 業	自営業・ 個人事業主等	会社員・ 公務員等	主婦(夫)	学生	無職	その他	合計
人 数	33人	68人	39人	9人	26人	14人	189人

目 次

I 調査結果の分析

「新しい日常取組宣言店舗応援事業及び消費行動について」・・・1

「世界文化遺産『国立西洋美術館』の周知啓発・活用について」・9

「台東区制作番組について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

II アンケート質問と回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

報告書の表記について

- (1) 回答の構成比率(%)はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入しています。そのため、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 基数となるべき実数は、Nで表しています。
Nは、回答者総数または該当設問の該当者数です。
- (3) 複数回答の設問は、各選択肢を1つだけでなく、2つ以上選択するため、各選択肢の合計数字が100%を超える場合があります。
- (4) 自由意見は、文字制限がある為、要約して掲載する場合があります。

※この報告書は、区のホームページ <https://www.city.taito.lg.jp/>に掲載しています。
(トップページ>区民の声>台東区区政サポーター)

I 調査結果の分析

【新しい日常取組宣言店舗応援事業及び消費行動について】

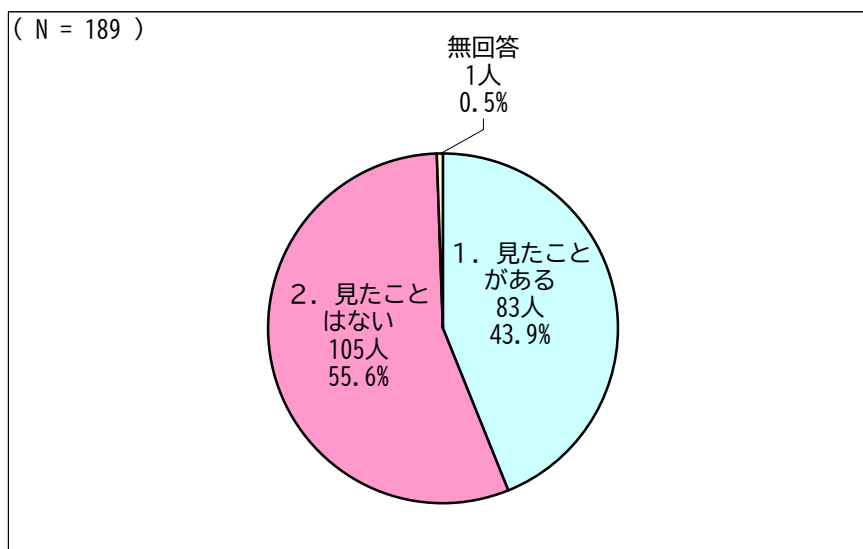
今回の調査では、区が発行している「新しい日常取組宣言書」や「宣言店ステッカー」が貼られた店舗を見たことがあると回答した方が約4割、感染症対策に取り組む店舗を紹介する「Networkたいとう『新しい日常』取組店舗PR号」について見たことがあると回答した方が約2割となりました。より多くの方へ周知していくことが必要であることが分かりました。

また、コロナ禍において、店舗での購入が減った方が約3割、「商店街の利用」が減少した方が約2割であることから、今後は利用者数の回復に向けた支援の検討が必要であることが分かりました。

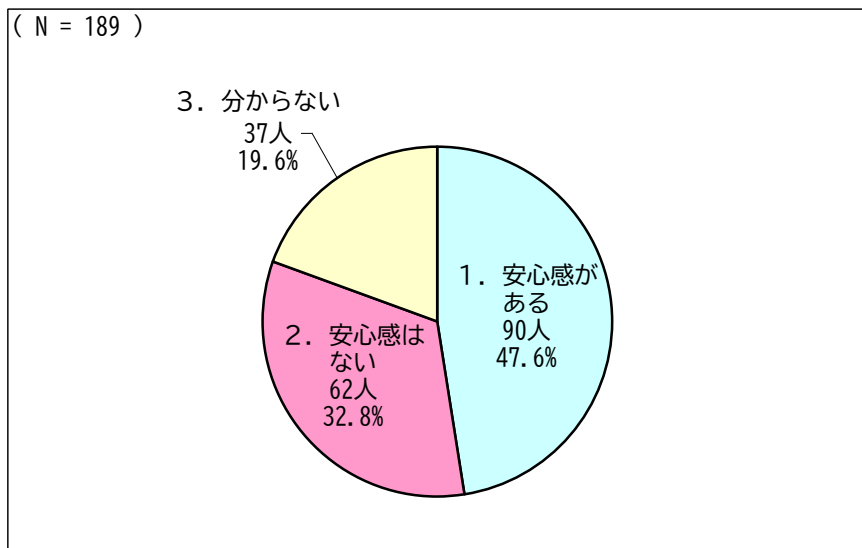
今回いただきましたご意見を参考に、コロナ禍に対応した施策を検討してまいります。

(文化産業観光部 産業振興課)

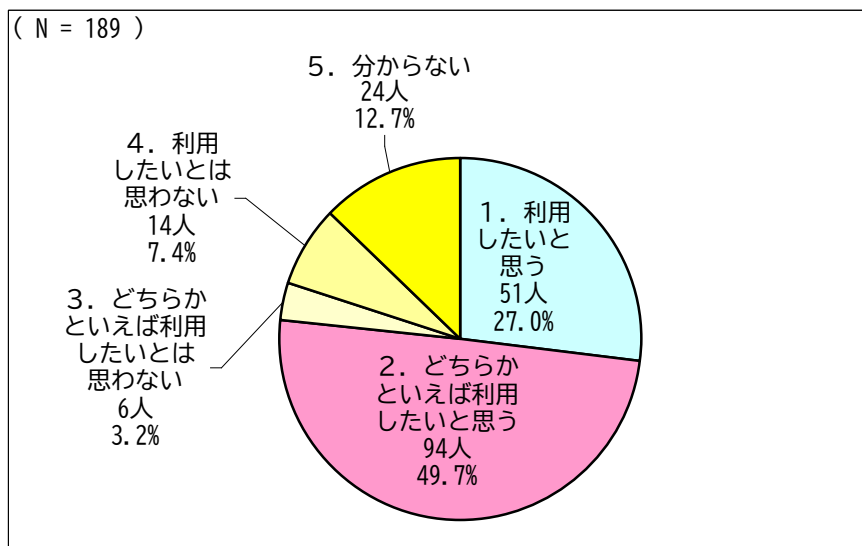
設問1：区では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組む店舗を応援するため、区内店舗に、アサガオをモチーフにした紫色の「新しい日常取組宣言書」と「宣言店ステッカー」を配布しています。それらが貼られている店舗を見たことがありますか。



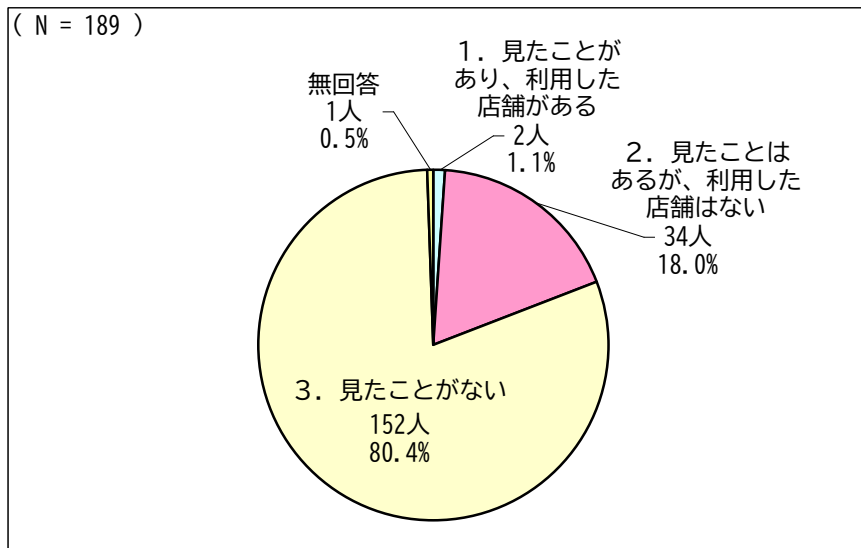
設問2：都でも新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行っていることを表した、虹マークのステッカーを配布しています。区や都が配布しているステッカーが店舗に貼られていることによって安心感がありますか。



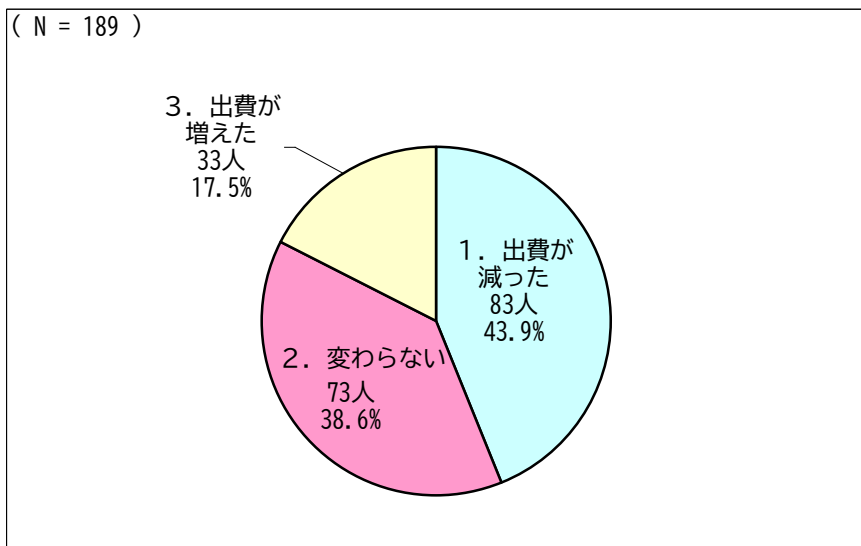
設問3：区や都が配布しているステッカーを貼っている店舗と、貼っていない店舗を比べた場合、貼っている店舗を優先的に利用したいと思いますか。



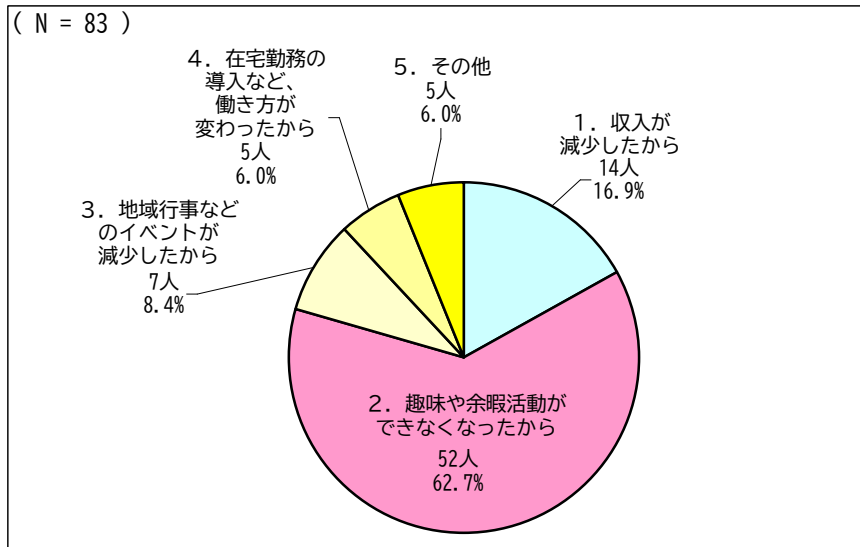
設問4：感染症対策に取り組む店舗を紹介する、「Networkたいとう『新しい日常』取組店舗PR号」を発行していますが、見たことがありますか。また、それを見て、利用した店舗はありますか。



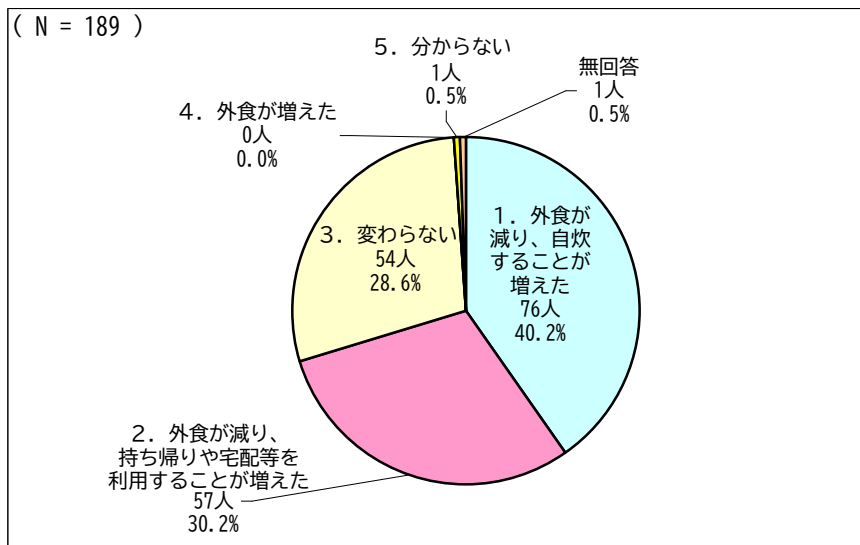
設問5：コロナ禍の前後で、お金の使い方に変化はありましたか。



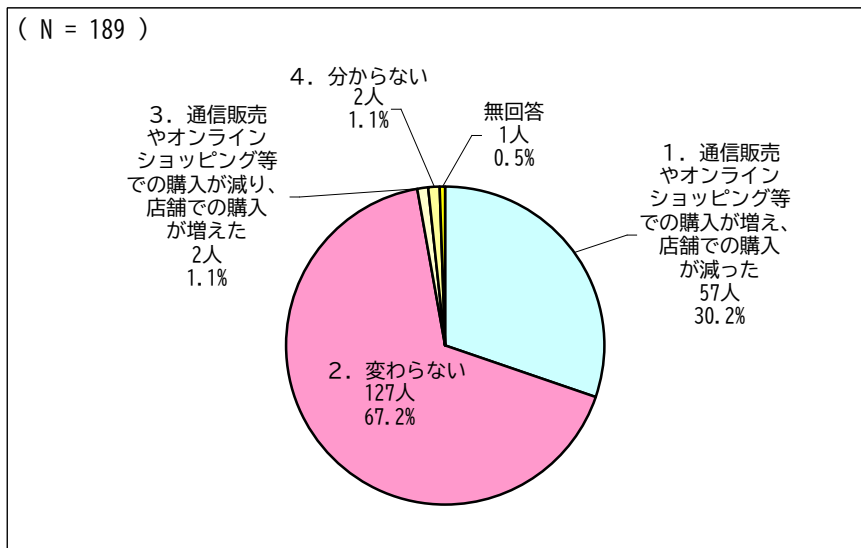
設問6：設問5で、選択肢1「出費が減った」を選択した方にお伺いします。
出費が減った主な理由は何ですか。



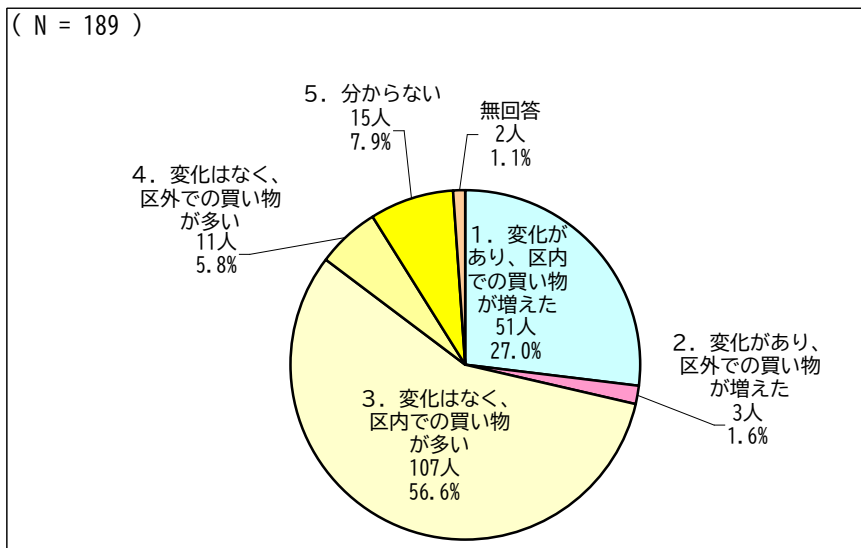
設問7：コロナ禍の前後で、外食の頻度に変化はありましたか。



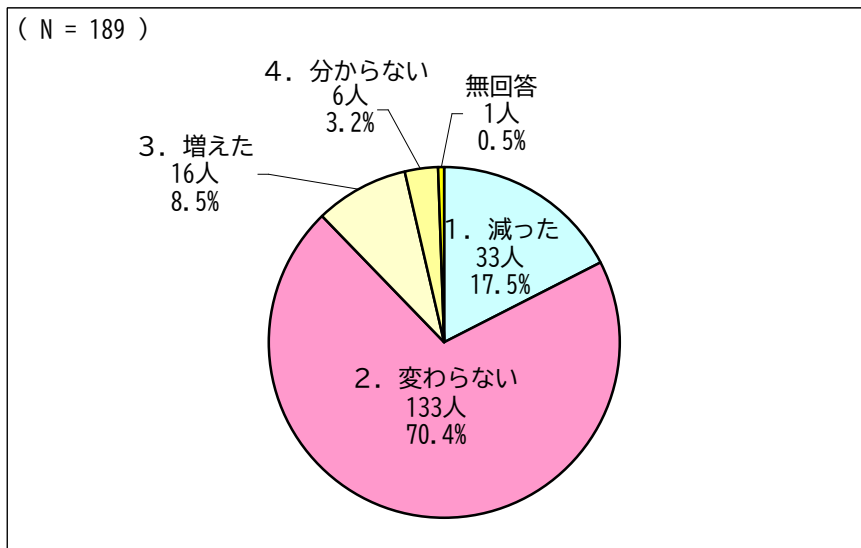
設問8：コロナ禍の前後で、買い物の手段に変化はありましたか。



設問9：コロナ禍の前後で、利用する店舗に変化はありましたか。



設問10：コロナ禍の前後で、区内商店街の利用頻度は変わりましたか。



設問11：新しい日常取組宣言店舗応援事業及び消費行動について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・ステッカーを貼っている店舗には、抜き打ちで感染症対策に問題がないかチェックして欲しい。店舗が独自に宣言するだけでは安心できない。公的機関が現地調査をして承認が得られたような店舗であれば安心できる。
- ・ステッカーを貼り、安全宣言をしていた店舗で、クラスターが発生した。しっかりとした対応をしていない店舗もあるため、全く信用していない。
- ・客に感染症対策を求めているが、店員の対策ができていない店舗がある。店員に向けた感染症予防に関する講習会やパンフレットなどで、対策を徹底して欲しい。
- ・ステッカーについては都の施策と重複するところがあり、区のデザインは品は良いが目立たない。店員の定期的なPCR検査の費用補助など、具体的な支援が必要ではないか。
- ・コロナ禍前は、週末に電車で行って買い物をすることがあったが、現在は外食も持ち帰りもする気にならず、外でお金を使う機会が減っている。
- ・コロナ禍前は、安い商品を求めて1日に複数の店舗を回っていたが、現在は2～3日おきに1店舗にのみ行くようになった。ネットスーパーも初めて利用するようになった。
- ・通販などを利用し、実店舗にはあまり行かないようにしている。観光地の店舗は大きな影響を受けていると思うが、新しい取り組みなどを模索して頑張ってもらいたい。
- ・将来に不安を感じ、お金の使わないようになった。
- ・直接確認をしたいものや説明を聞いたうえで購入したいものは、コロナ禍前と変わらず直接お店に行って買い物をしており、特段の変化はないように感じている。
- ・ステッカーの有無に関わらず、今まで利用していた店舗は利用しており、個人的にはそこまで意識していない。
- ・コロナ対策がしっかり行われている店舗ならば、このような時期だからこそ積極的に利用したいと思う。
- ・行事やお祭り、イベントが無くなり、とても寂しい日常になってしまった。買い物くらいは暗い気分を明るくする取り組みを、店側も意識してくれると消費者も嬉しいと思う。

- ・レジ袋の有料化に伴いマイバッグを持ち歩くようになると、近くの個人商店での買い物が増えた。豆腐屋に容器を持って行ったり、肉屋で量り売りで購入したりすると、ごみも出ない。新たな習慣として定着していくと良いと感じた。
- ・飲食店や小売店等の各店舗は、真摯に対応してくれていると感じる。だからこそ、それらの店舗を支えるような取り組みを、行政だけでなく消費者も一丸となって行っていかなければならないと思う。
- ・台東区は飲食店が多いので、テイクアウトストリートのようなものがあると良いと思う。人通りの少ない地域に人が来れば地域活性化につながるうえ、屋外なので換気も良く、感染症のリスクも少ないと思う。
- ・児童館も予約制となり、子供を連れて行ける場所が無くなってしまった。感染症対策に加え、子供も遊びながら食事ができるようにリフォームやスタイルを変えるお店に対し、支援を行うような取り組みがあると良い。
- ・区独自のクーポンやプレミアム付き商品券を発行して、区内消費を高めるような支援を実施して欲しい。
- ・客の人数を制限し、消毒液の使用や飛沫防止フィルムの設置など、出来る限りのことをしている店舗がある一方、扉を締め切り、深夜まで営業して給付金をもらっている店舗があると聞くと、不公平だと感じる。
- ・テイクアウトの利用増加に伴い、容器のごみが増えた。路地や駐車場の隅に放置されているプラスチックごみも見かけるようになり、回収等について検討が必要だと感じる。
- ・TAITOおでかけナビのテイクアウトを行っている飲食店の紹介はとても良かった。テイクアウトを行っている店舗を見つけることができ、新たな店舗の発見にもつながった。店舗側としてもPRや売り上げの増加につながり、とても良い取り組みだったと思う。
- ・感染症対策を店舗に求める声が多い中、エレベーター内で話をしていたり、マスクをしない若者が多くいて、そちらの方が気になる。
- ・一番大切なのは各個人がコロナ対策を十分に行い、習慣化し、自己判断で行動することだと思う。他人任せでは解決しない。

【世界文化遺産「国立西洋美術館」の周知啓発・活用について】

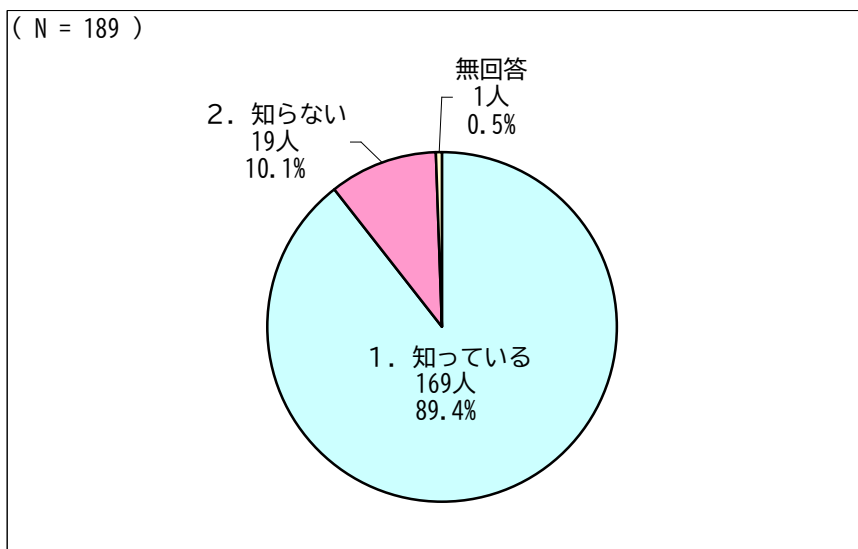
平成28年の世界文化遺産登録以降も、区では国立西洋美術館について様々な普及啓発を実施してまいりました。

今回の調査では、約9割の方が台東区に世界遺産があることを知っているという回答をしています。一方、区の取り組みについては、「満足している」・「どちらかといえば満足している」との回答が半数を超えるものの、「分からない」との回答が約3割であることから、更なる周知が必要であると考えています。

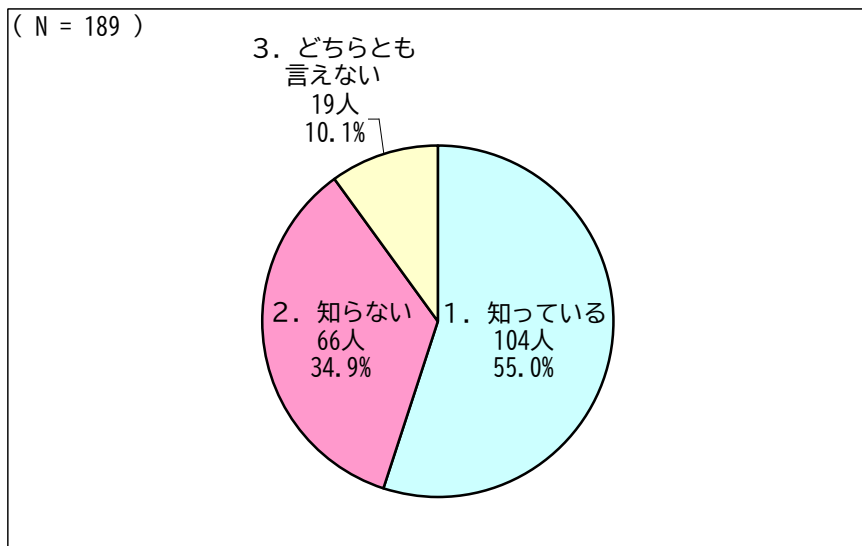
現在、国立西洋美術館は工事のため、令和4年春まで全館閉館しておりますが、今回いただいたご意見を参考に、より一層の事業の充実に努めてまいります。

(国際・都市交流推進室 世界遺産担当)

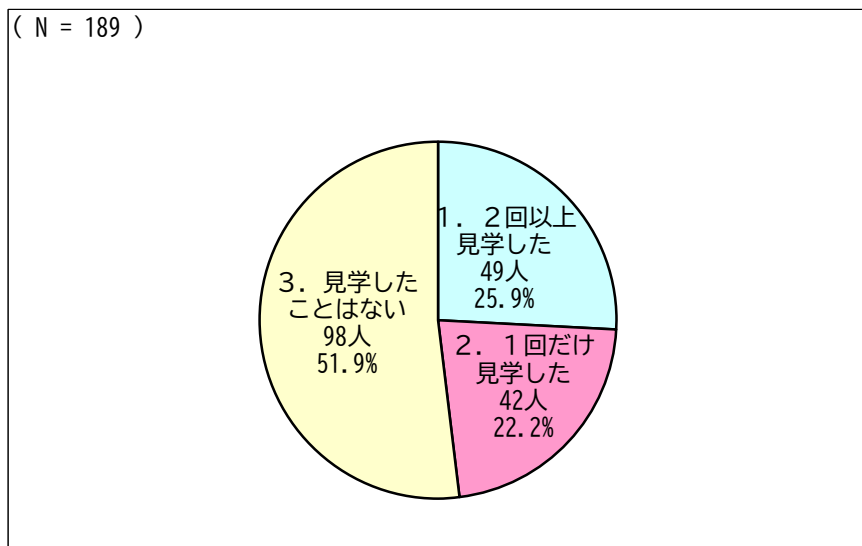
設問12: 上野公園内にある国立西洋美術館は、7カ国17資産で構成される「ル・コルビュジエの建築作品ー近代建築運動への顕著な貢献ー」として、2016年に世界文化遺産に登録され、2021年に5周年を迎えます。
台東区に世界遺産があることを知っていますか。



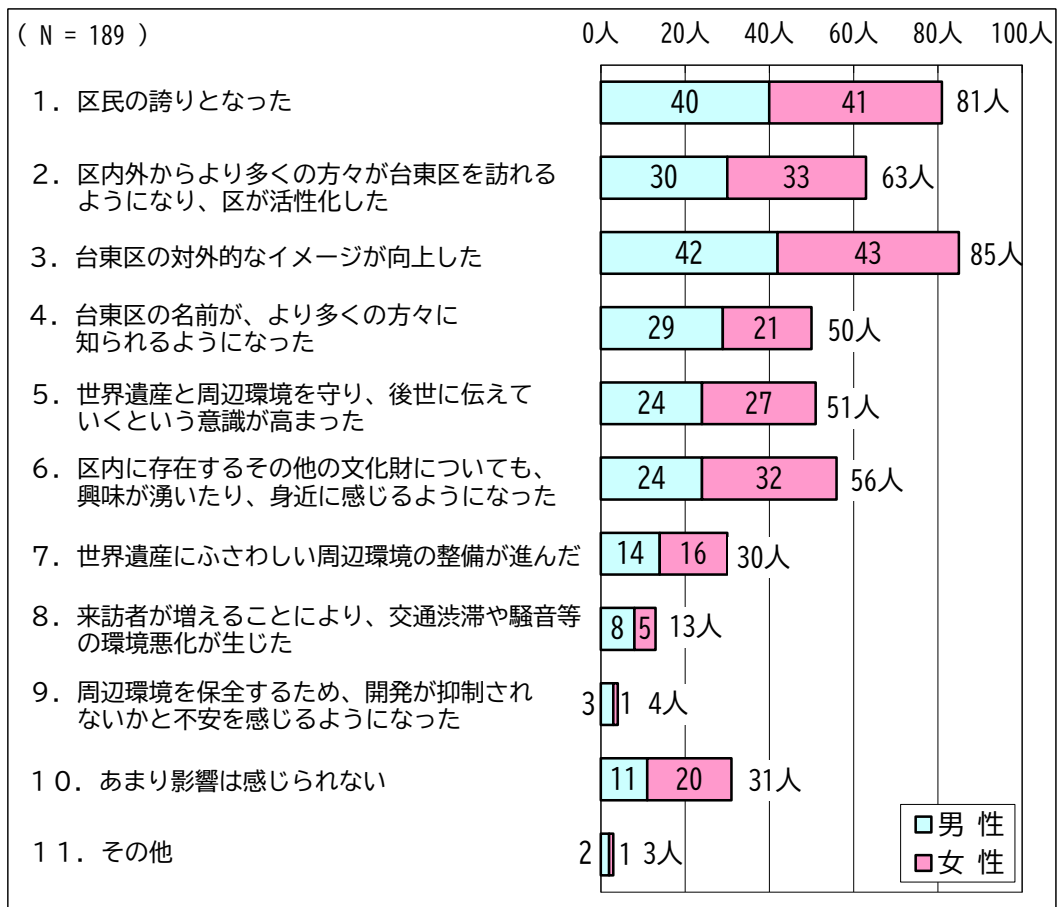
設問13： 国立西洋美術館は、人間の創造的才能を表す傑作であることや世界規模での卓越した影響力を示す総体としての建築群であることなど、その顕著な普遍的価値が評価され、世界文化遺産に登録されました。このように評価された内容を知っていますか。



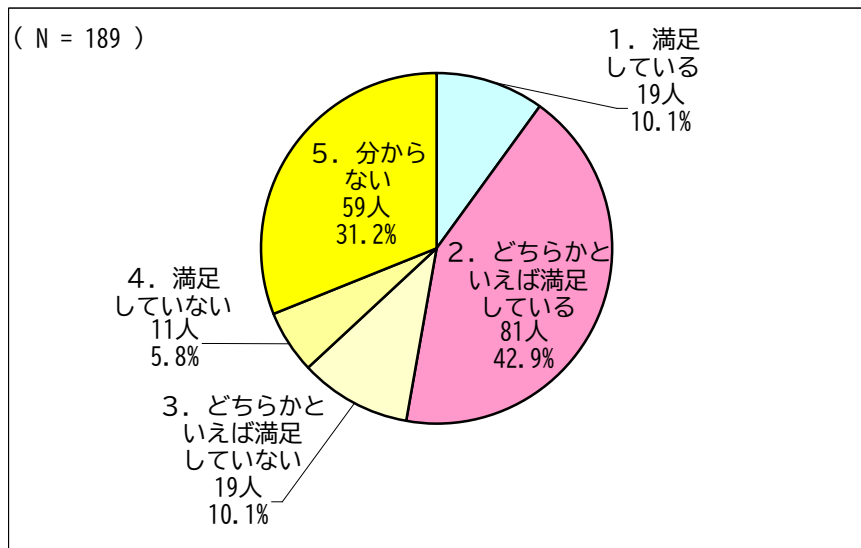
設問14： 2016年7月に世界文化遺産に登録されて以降に、国立西洋美術館を見学したことはありますか。



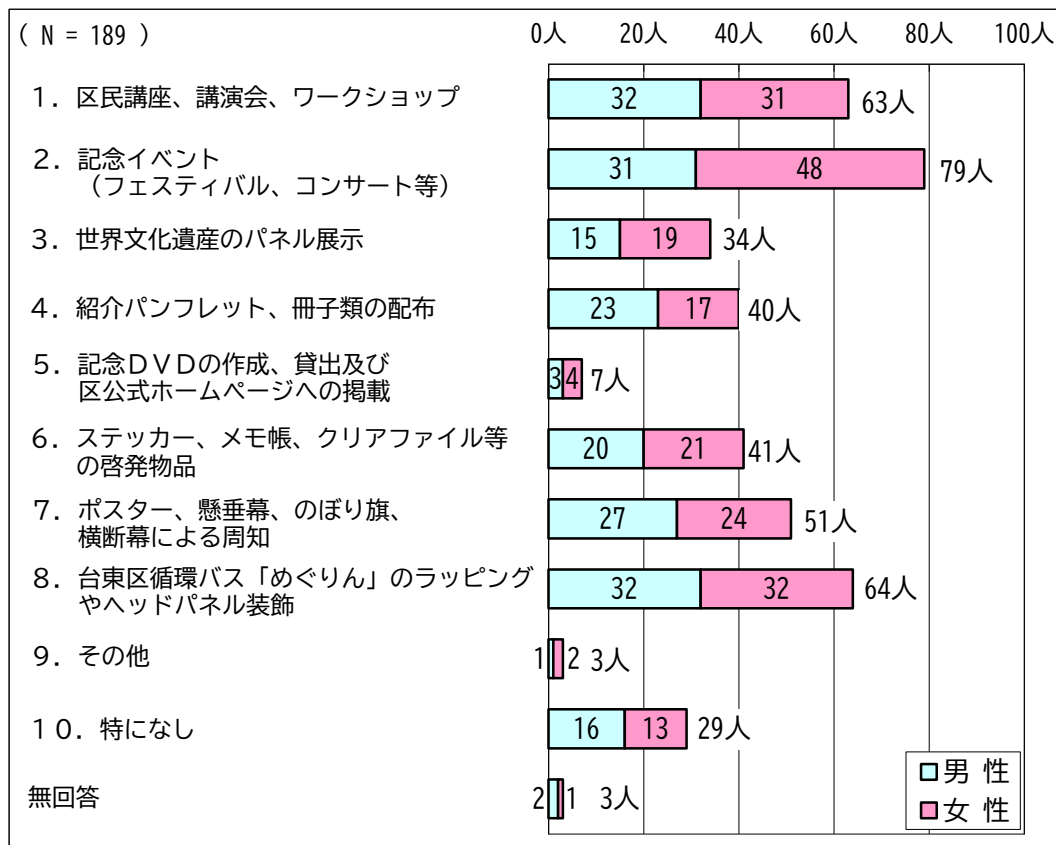
設問15：世界遺産が登録されたことで、台東区にどのような影響があったと思いますか。
(複数回答可)



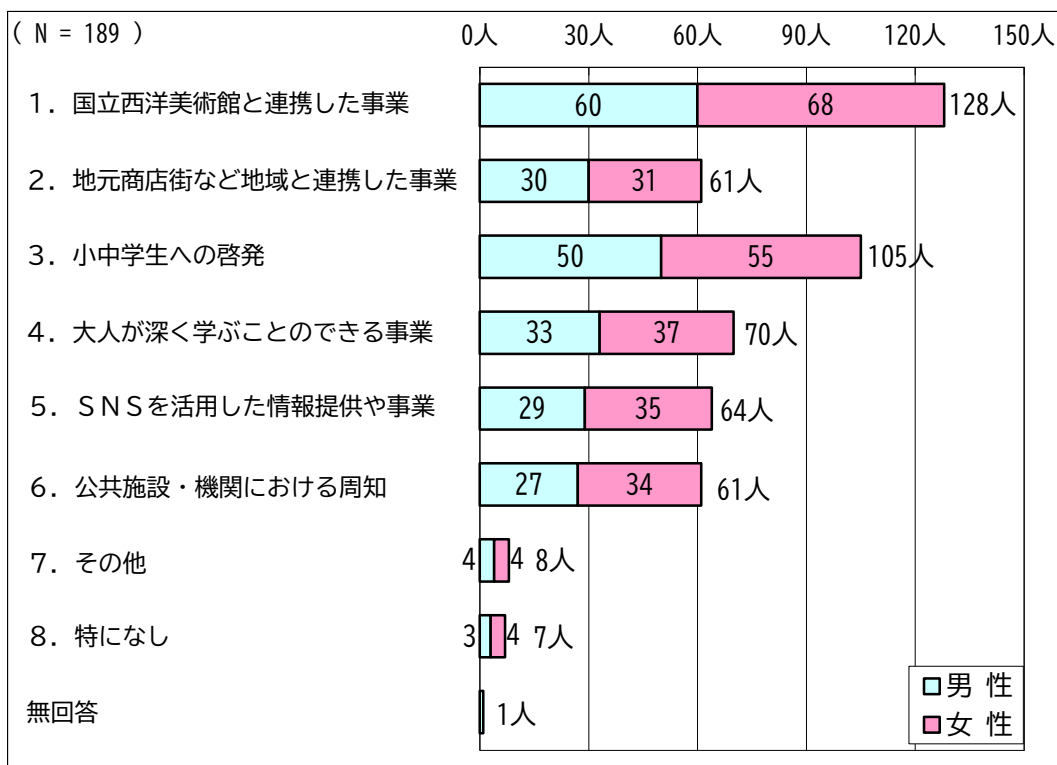
設問16：世界文化遺産「国立西洋美術館」の周知啓発・活用に係る区の実施について、どの程度満足していますか。



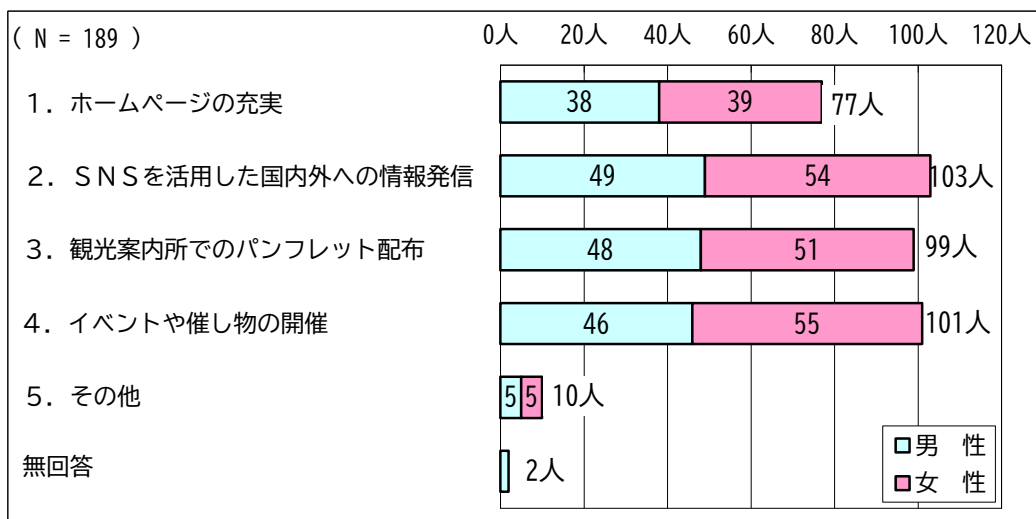
設問17：区ではこれまで、世界遺産関連事業を行ってきましたが、どのようなものに興味がありますか。(複数回答可)



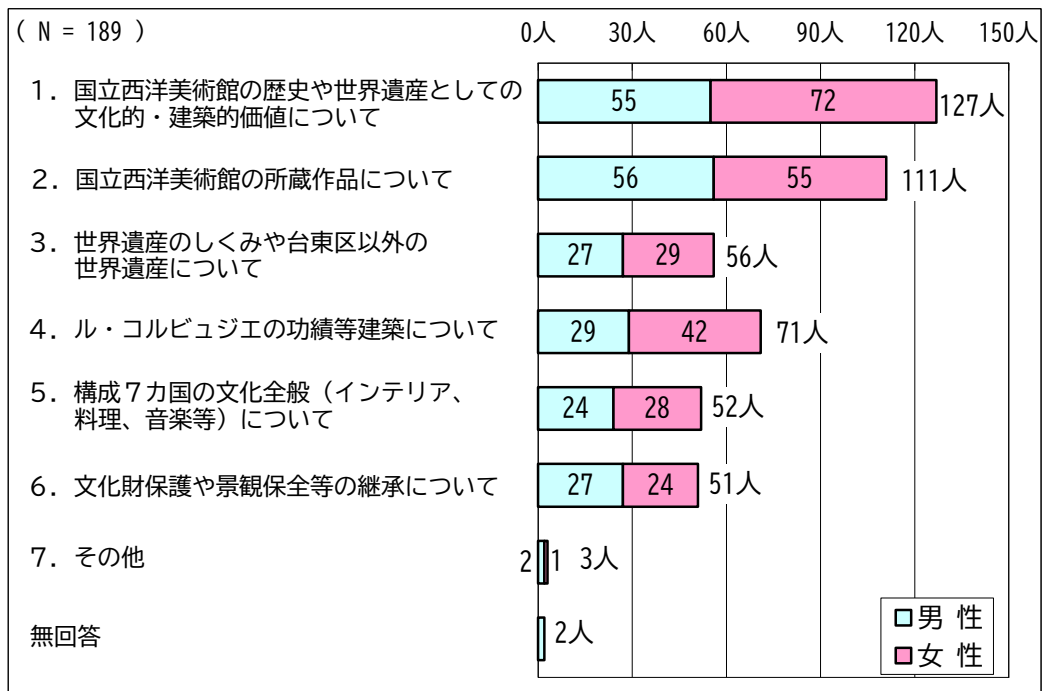
設問18：区民に世界遺産への親しみをより一層持ってもらうため、どのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答可)



設問19：来街者に「世界遺産のあるまち 台東区」をより一層PRするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答可)



設問20：今後、区で世界遺産関連事業を行う場合、どのようなテーマを取り上げたらよいと思いますか。（複数回答可）



設問21：世界文化遺産「国立西洋美術館」の周知啓発・保全活用について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・ 都内かつ駅近の世界遺産は他にない。台東区民全員の誇りだ。特に小中学生に訪れて欲しい。
- ・ 文化継承のために学校での教育に積極的に取り入れ、次世代に啓発することが重要だと思う。また、SNSを活用して若い世代への周知啓発を行うことで、文化継承の重要性が周知されると思う。
- ・ 国立西洋美術館が世界文化遺産に登録される前に、同美術館で行われた講演会及び見学会に家族で参加した経験がある。親子で参加できるイベントを催すのも良いと思う。
- ・ 子供の頃から身近に感じていた所が世界文化遺産になり、うれしい。イベントに参加して、素晴らしい構造にびっくりした。
- ・ 国立西洋美術館のメモ帳のように、普段使えるものにプリントされると印象に残る。今後作成する啓発物に、観光名所と国立西洋美術館を掲載した台東区の地図をプリントし、区民が持ち歩けば広告になると思う。
- ・ 周知啓発について、ポスターの掲示やメモ帳、ティッシュの配布を行う場合、国立西洋美術館の何が良いのかアピールする文面、デザインにした方が良いかと思う。
- ・ 世界遺産に登録されてから5年を迎える。コロナ禍にある現在、最大限の感染症対策を施し、その維持を心がけて欲しい。
- ・ 国立西洋美術館も素敵だが、写真スポットとして広められれば、若者や観光客がもっと増えて町も活性化できると思う。めぐりんのラッピングも良いアイデアだと思う。
- ・ SNSでの拡散を大いに活用すべきだと思う。また、多くの人知っている他の世界遺産も紹介することで、世界遺産の偉大さがより伝わりやすくなると思う。
- ・ 自ら積極的に情報を取り入れることが難しい人もいるため、雑誌やTV等のメディアによる周知に力を入れると良いと思う。
- ・ 週末夜間の常設展無料観覧は周知啓発として最も効果的だと思う。新型コロナウイルス感染症予防のため難しいのかもしれないが、無料観覧を再開して欲しい。

- ・国立西洋美術館の歴史や世界遺産としての文化的・建築的価値について取り上げることは重要だ。美術館設立の経緯は美術品の流転や戦争、政治、外交もからみ、この建築物をよりドラマティックなものに思うと思う。
- ・コロナウイルスが落ち着いたら、イベントを多く開催して欲しい。ル・コルビュジェの他の国の世界遺産建築を紹介して欲しい。
- ・国立西洋美術館が世界文化遺産であることは知っているが、構成7カ国の一部であることは、つい見失いがちになる。他の6カ国との連携、他の6カ国の文化遺産、文化についても学べる機会があれば良いと思う。
- ・ル・コルビュジェの建築群がなぜ世界遺産登録の対象になったのかが分からない。他にも素晴らしい功績を残した建築家は大勢いる。その中で、なぜ彼が対象になったのかをもっと説明して欲しい。
- ・建築物としての世界遺産なので、展示品ではなく、建築物そのものを見学できるツアーがあると良い。例えば免震層の見学など、建築の専門的なツアーを、建築学科の学生など専門家向けのものであれば参加したい。
- ・建築学を学んだ自分にとって、世界遺産登録は大変嬉しく思う。まずは、区内の生徒に訪問させて欲しい。その経験が大人になった際、区民の誇りになると思う。区外の人を招く事だけに特化せず、区民に還元して欲しい。
- ・「国立西洋美術館」を含む上野地区は日本一の文化施設の集積所だ。東京国立博物館、国立科学博物館、東京藝術大学美術館などの第一級の文化施設をトータルでPRして欲しい。
- ・国立西洋美術館が世界遺産となったことは周知の事実なので、その周辺の飲食や買い物といったパッケージでの宣伝効果があると、なお良いと思う。
- ・台東区として、とても荣誉ある事だと思っている。区内外に拘りなく周知をし続け、知名度を上げることが重要だと思っている。弊害も考慮しつつ、住民も一丸となることで、より良い活動に繋がると思う。

【台東区制作番組について】

区では区民のニーズに沿った情報発信のために、台東区制作番組と台東区公式チャンネル（YouTube）を推進しております。

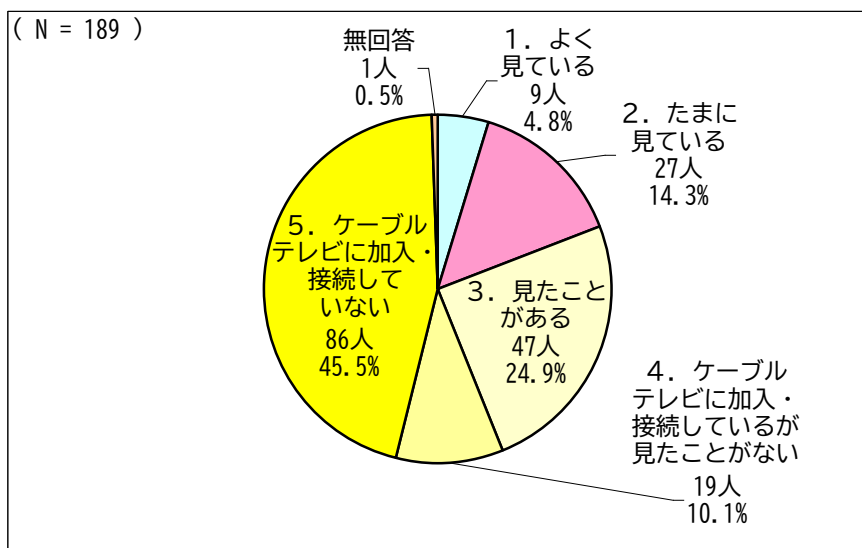
今回の調査では、「ケーブルテレビ」のご視聴される時間帯については、夕方と夜間が合わせて約7割となり、朝や昼に比べ多い事が分かりました。

また、台東区公式チャンネル（YouTube）は発足以降、登録人数、視聴回数ともに順調に伸びておりますが、知っていると回答された方が3割弱であることから、更なる周知が必要であると分かりました。

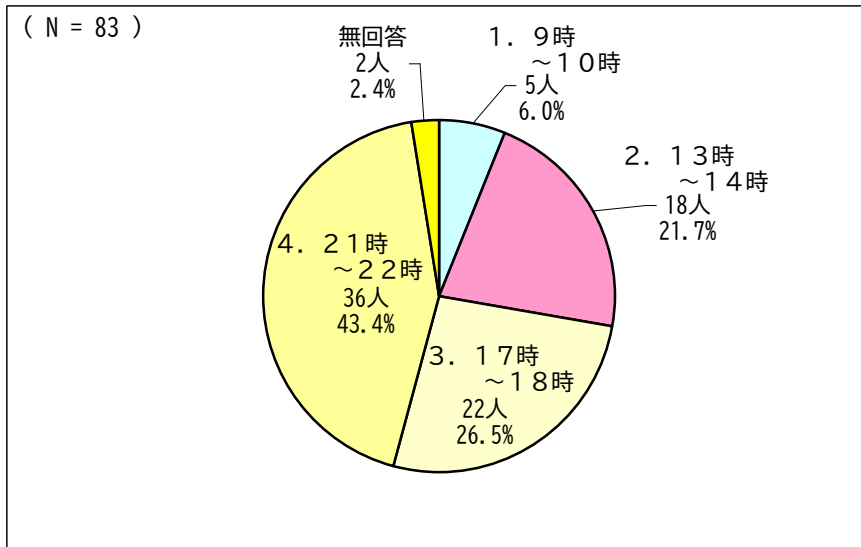
今後、広報たいとう・区公式ホームページに加えてSNS等も利用し、積極的な広報活動を行うとともに、今回のご意見を参考に皆様の生活に活かしていただける番組制作に努めてまいります。

（総務部 広報課）

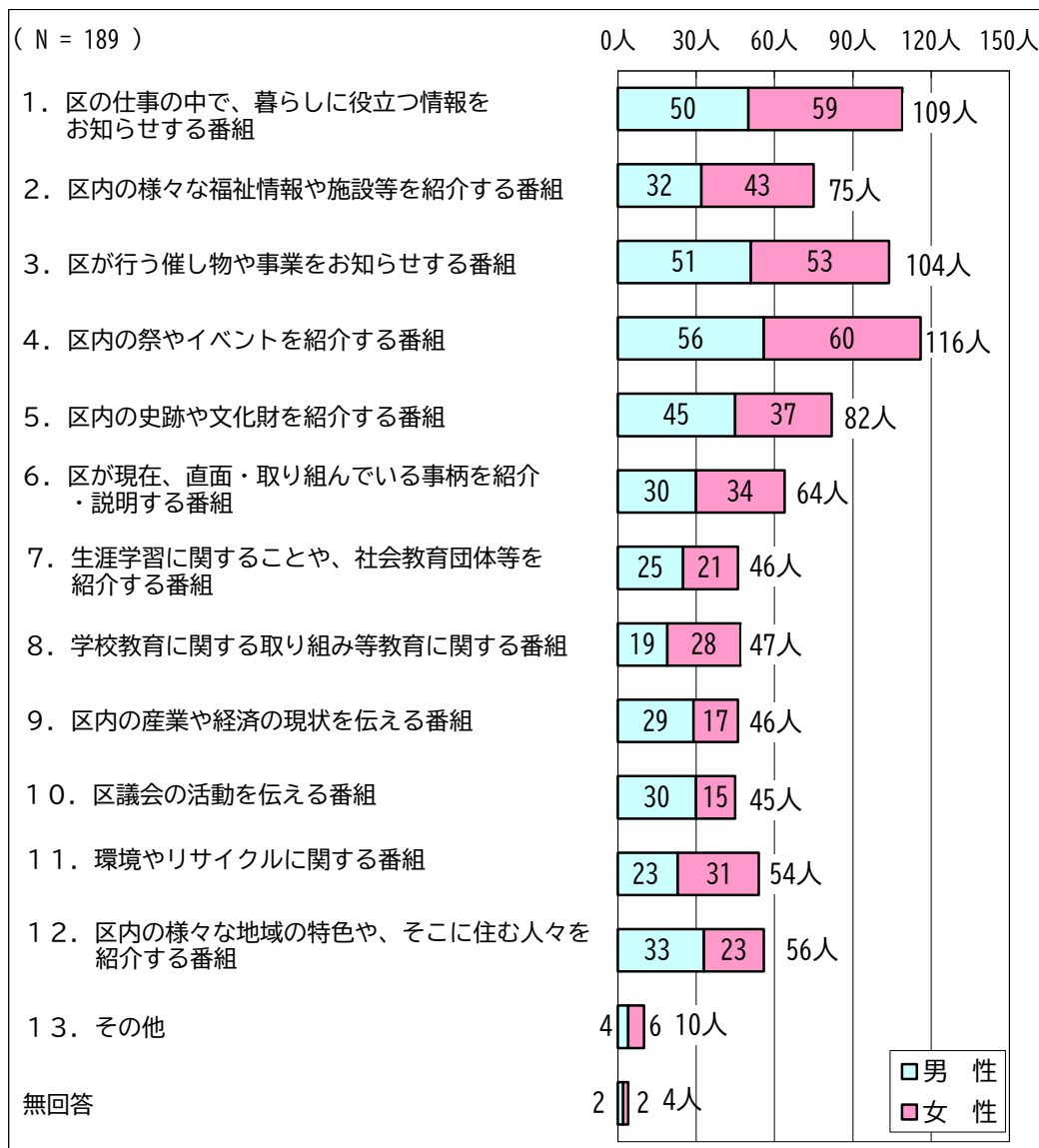
設問22：台東区制作番組（区が制作した行政情報番組）をケーブルテレビ11チャンネルで毎日9時、13時、17時、21時から1時間放送しています。番組を見たことがありますか。



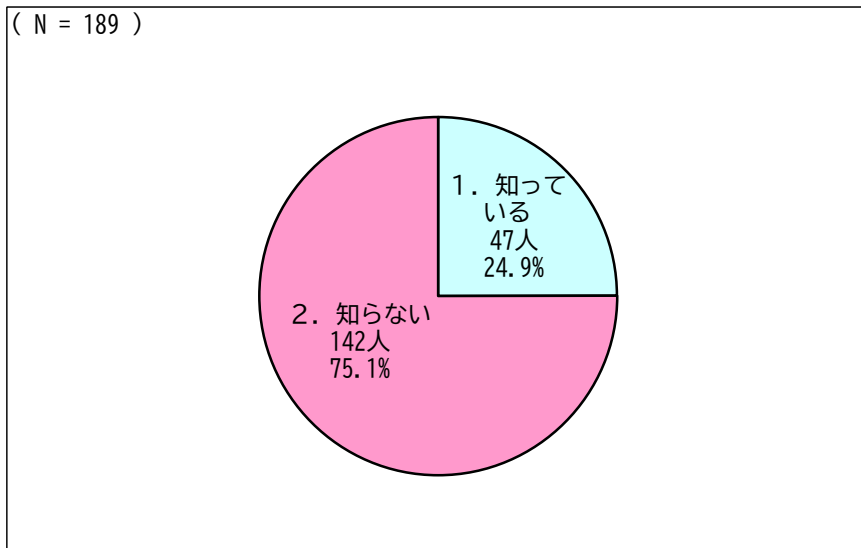
設問23：設問22で選択肢1～3を選択した方にお伺いします。
主にどの時間帯で視聴しますか。



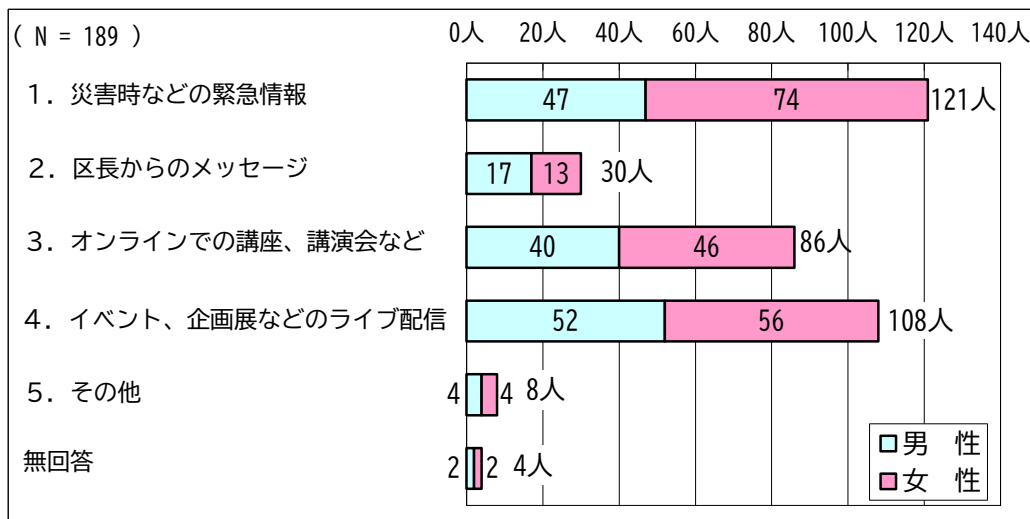
設問24：台東区制作番組ではより多くの方にご視聴いただくために、どのような番組制作が必要だと思いますか。(複数回答可)



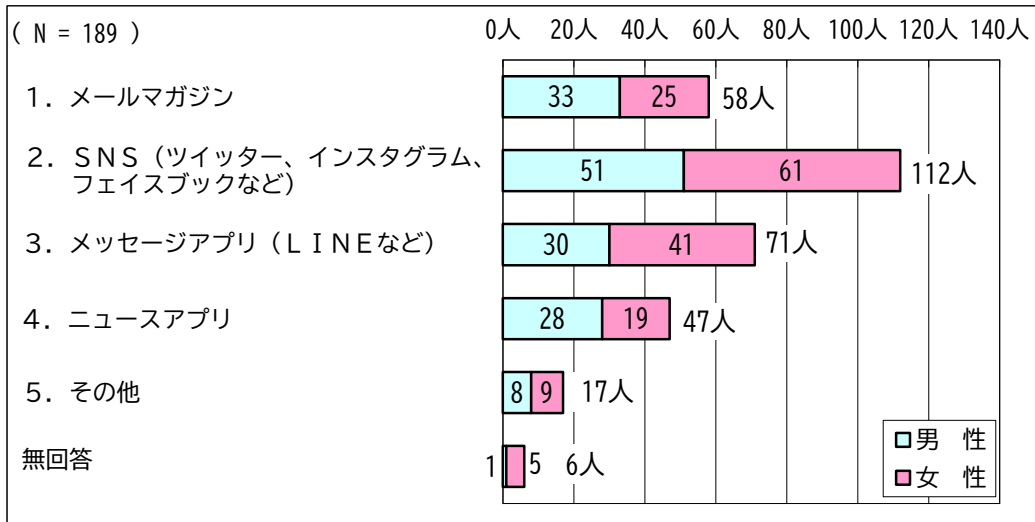
設問25：台東区制作番組の一部を台東区公式チャンネル（YouTube）にて配信していますが、知っていますか。



設問26：台東区公式チャンネル（YouTube）を、より多くの方にご視聴いただくために、放送した台東区制作番組の他に、どのようなコンテンツが必要だと思いますか。（複数回答可）



設問27：台東区制作番組や台東区公式チャンネル（YouTube）を知ってもらうために、広報たいとうや区公式ホームページで番組情報を発信していますが、その他にどのようなツールでの発信が必要だと思いますか。（複数回答可）



設問28：台東区制作番組について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・区内で行われた催し物、イベント等を楽しく紹介して欲しい。
- ・YouTubeでは、緊急時の区内での避難方法やごみの分別方法など、繰り返し確認したい情報やコロナで中止となった講座を放映して欲しい。
- ・子供向けコンテンツとして台東区の清掃車が働く姿や仕組みの様子、緊急車両や消防団の映像があると子供が喜ぶと思う。
- ・台東区制作番組の存在を知っている人は多くないと思うので、SNSなどをより効果的に使用し、若者にも存在を示した方が良いのではないか。
- ・最近、地震等の災害が頻繁に起きているので、災害に関する様々な内容の番組をより一層放映して欲しい。
- ・「こんにちは区長です」「ニュースたいとう」「もっとセレクション」は毎回必ず録画して見ている。これからも楽しみにしている。
- ・視聴時間を制限されないため、ケーブルテレビよりYouTubeの方が視聴しやすいと思う。メールマガジンと連動すれば、視聴機会が増えると思われる。
- ・新しく台東区に転入してきた人向けに情報提供をすると良いと思う。例えば、子育て世代ならば保育園や幼稚園の紹介、公園、児童館、子供が楽しめる文化施設などの情報を伝えてはどうか。
- ・子供たちの活躍を取り上げて欲しい。
- ・イベントの日程や延期、中止の情報が欲しい。
- ・YouTubeに慣れていないので、テレビの方が勝手が良い。
- ・ケーブルテレビ、YouTubeでは視聴するユーザー層が異なると思う。ただ配信するだけでは意味がないので、教育機関が活用できるものや、時間に捕らわれずに見られる物が良いと思う。
- ・区民生活に役立つ情報を発信して欲しい。

- ・台東区の魅力を、歴史的な遺産などを通じて、分かり易く、発信して欲しい。それに関連した、見学ツアー等も企画して欲しい。
- ・広報たいとうをよく読むが、YouTubeに出しているという記事の記憶はほとんど無い。掲載方法を考えた方が良く思う。
- ・去年の三社祭の映像を見て、幸せな気持ちになった。今年は三社祭、ほおづき市、植木市、あさがお市、花火、サンバも無かったので、昔の映像や街並み等をまた放送して欲しい。
- ・YouTubeやSNSなどで自転車の安全な利用法を告知して欲しい。
- ・小さいエリアを単位として、その中の住民参加型の持込み企画を臨番制で行うなど、「区＝行政」ではなく「地域住民」が先頭に立った番組づくりがあってもよいのではないか。
- ・YouTubeチャンネルを見せてもらったが、お祭りの特集が面白かった。今年はお祭りがなく寂しいと思っている区民も少なくないのだから、継続的に放映すれば広報になり、文化の継承につながるのではないか。
- ・最近SNSの存在を知り登録したばかりだ。SNSで情報を教えてもらえたら、見る機会が増えそうだ。地域の店などを教えてもらえるとうれしい。
- ・台東区内の史跡などを子供たちが興味を持つような作りで紹介する番組を作り、学校の授業で使ったりするなど、子供たちの台東区に対する知識ベースをあげるような番組があるといいと思う。愛“区”心も生まれるのではないか。
- ・台東区のケーブルテレビを見たことはあるが、YouTubeは見たことがない。検索ワードで引っかかったり、ポップで面白く、役に立つ町案内やグルメ情報などが取り上げられていけば見るかもしれない。
- ・初めて台東区公式チャンネルを視聴したが、動物園や上野、浅草、鳥越神社、谷中のような区内の観光地紹介が良い。めぐりん全停留所の紹介をしたらどうか。
- ・番組表をSNSで告知して欲しい。とても有益な番組が多いと思う。
- ・コロナウイルスが大丈夫になったら、また行きたい、観たいと思える充実した内容で楽しみだ。制作の努力が感じられる。BGMをもう少し明るい曲にしてみたらどうか。

II アンケート質問と回答

【新しい日常取組宣言店舗応援事業及び消費行動について】

- 設問1:** 区では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組む店舗を応援するため、区内店舗に、アサガオをモチーフにした紫色の「新しい日常取組宣言書」と「宣言店ステッカー」を配布しています。それらが貼られている店舗を見たことがありますか。
- | | | |
|------------|------|--------|
| 1. 見たことがある | 83人 | 43.9% |
| 2. 見たことはない | 105人 | 55.6% |
| 無回答 | 1人 | 0.5% |
| 全体 | 189人 | 100.0% |
- 設問2:** 都でも新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行っていることを表した、虹マークのステッカーを配布しています。区や都が配布しているステッカーが店舗に貼られていることによって安心感がありますか。
- | | | |
|-----------|------|--------|
| 1. 安心感がある | 90人 | 47.6% |
| 2. 安心感はない | 62人 | 32.8% |
| 3. 分からない | 37人 | 19.6% |
| 全体 | 189人 | 100.0% |
- 設問3:** 区や都が配布しているステッカーを貼っている店舗と、貼っていない店舗を比べた場合、貼っている店舗を優先的に利用したいと思いますか。
- | | | |
|------------------------|------|--------|
| 1. 利用したいと思う | 51人 | 27.0% |
| 2. どちらかといえば利用したいと思う | 94人 | 49.7% |
| 3. どちらかといえば利用したいとは思わない | 6人 | 3.2% |
| 4. 利用したいとは思わない | 14人 | 7.4% |
| 5. 分からない | 24人 | 12.7% |
| 全体 | 189人 | 100.0% |
- 設問4:** 感染症対策に取り組む店舗を紹介する、「Networkたいとう『新しい日常』取組店舗PR号」を発行していますが、見たことがありますか。また、それを見て、利用した店舗はありますか。
- | | | |
|-----------------------|------|--------|
| 1. 見たことがあり、利用した店舗がある | 2人 | 1.1% |
| 2. 見たことはあるが、利用した店舗はない | 34人 | 18.0% |
| 3. 見たことがない | 152人 | 80.4% |
| 無回答 | 1人 | 0.5% |
| 全体 | 189人 | 100.0% |

設問5: コロナ禍の前後で、お金の使い方に変化はありましたか。

1. 出費が減った	83人	43.9%
2. 変わらない	73人	38.6%
3. 出費が増えた	33人	17.5%
全体	189人	100.0%

設問6: 設問5で、選択肢1「出費が減った」を選択した方にお伺いします。出費が減った主な理由は何ですか。

1. 収入が減少したから	14人	16.9%
2. 趣味や余暇活動ができなくなったから	52人	62.7%
3. 地域行事などのイベントが減少したから	7人	8.4%
4. 在宅勤務の導入など、働き方が変わったから	5人	6.0%
5. その他	5人	6.0%
全体	83人	100.0%

設問7: コロナ禍の前後で、外食の頻度に変化はありましたか。

1. 外食が減り、自炊することが増えた	76人	40.2%
2. 外食が減り、持ち帰りや宅配等を利用することが増えた	57人	30.2%
3. 変わらない	54人	28.6%
4. 外食が増えた	0人	0.0%
5. 分からない	1人	0.5%
無回答	1人	0.5%
全体	189人	100.0%

設問8: コロナ禍の前後で、買い物の手段に変化はありましたか。

1. 通信販売やオンラインショッピング等での購入が増え、店舗での購入が減った	57人	30.2%
2. 変わらない	127人	67.2%
3. 通信販売やオンラインショッピング等での購入が減り、店舗での購入が増えた	2人	1.1%
4. 分からない	2人	1.1%
無回答	1人	0.5%
全体	189人	100.0%

設問9: コロナ禍の前後で、利用する店舗に変化はありましたか。

1. 変化があり、区内での買い物が増えた	51人	27.0%
2. 変化があり、区外での買い物が増えた	3人	1.6%
3. 変化はなく、区内での買い物が多い	107人	56.6%
4. 変化はなく、区外での買い物が多い	11人	5.8%
5. 分からない	15人	7.9%
無回答	2人	1.1%
全体	189人	100.0%

設問10: コロナ禍の前後で、区内商店街の利用頻度は変わりましたか。

1. 減った	33人	17.5%
2. 変わらない	133人	70.4%
3. 増えた	16人	8.5%
4. 分からない	6人	3.2%
無回答	1人	0.5%
全体	189人	100.0%

設問11: 新しい日常取組宣言店舗応援事業及び消費行動について、ご意見等がありましたらご記入ください。

【世界文化遺産「国立西洋美術館」の周知啓発・活用について】

設問12: 上野公園内にある国立西洋美術館は、7カ国17資産で構成される「ル・コルビュジエの建築作品ー近代建築運動への顕著な貢献ー」として、2016年に世界文化遺産に登録され、2021年に5周年を迎えます。台東区に世界遺産があることを知っていますか。

1. 知っている	169人	89.4%
2. 知らない	19人	10.1%
無回答	1人	0.5%
全体	189人	100.0%

設問13: 国立西洋美術館は、人間の創造的才能を表す傑作であることや世界規模での卓越した影響力を示す総体としての建築群であることなど、その顕著な普遍的価値が評価され、世界文化遺産に登録されました。このように評価された内容を知っていますか。

1. 知っている	104人	55.0%
2. 知らない	66人	34.9%
3. どちらとも言えない	19人	10.1%
全体	189人	100.0%

設問14: 2016年7月に世界文化遺産に登録されて以降に、国立西洋美術館を見学したことはありますか。

1. 2回以上見学した	49人	25.9%
2. 1回だけ見学した	42人	22.2%
3. 見学したことはない	98人	51.9%
全体	189人	100.0%

設問15: 世界遺産に登録されたことで、台東区にどのような影響があったと思いますか。
(複数回答可)

1. 区民の誇りとなった	81人	42.9%
2. 区内外からより多くの方々が台東区を訪れるようになり、区が活性化した	63人	33.3%
3. 台東区の対外的なイメージが向上した	85人	45.0%
4. 台東区の名前が、より多くの方々に知られるようになった	50人	26.5%
5. 世界遺産と周辺環境を守り、後世に伝えていくという意識が高まった	51人	27.0%
6. 区内に存在するその他の文化財についても、興味が湧いたり、身近に感じるようになった	56人	29.6%
7. 世界遺産にふさわしい周辺環境の整備が進んだ	30人	15.9%
8. 来訪者が増えることにより、交通渋滞や騒音等の環境悪化が生じた	13人	6.9%
9. 周辺環境を保全するため、開発が抑制されないかと不安を感じるようになった	4人	2.1%
10. あまり影響は感じられない	31人	16.4%
11. その他	3人	1.6%
全体	467人	

設問16: 世界文化遺産「国立西洋美術館」の周知啓発・活用に係る区の取り組みについて、どの程度満足していますか。

1. 満足している	19人	10.1%
2. どちらかといえば満足している	81人	42.9%
3. どちらかといえば満足していない	19人	10.1%
4. 満足していない	11人	5.8%
5. 分からない	59人	31.2%
全体	189人	100.0%

設問17: 区ではこれまで、世界遺産関連事業を行ってきましたが、どのようなものに興味がありますか。（複数回答可）

1. 区民講座、講演会、ワークショップ	63人	33.3%
2. 記念イベント（フェスティバル、コンサート等）	79人	41.8%
3. 世界文化遺産のパネル展示	34人	18.0%
4. 紹介パンフレット、冊子類の配布	40人	21.2%
5. 記念DVDの作成、貸出及び区公式ホームページへの掲載	7人	3.7%
6. ステッカー、メモ帳、クリアファイル等の啓発物品	41人	21.7%
7. ポスター、懸垂幕、のぼり旗、横断幕による周知	51人	27.0%
8. 台東区循環バス「めぐりん」のラッピングやヘッドパネル装飾	64人	33.9%
9. その他	3人	1.6%
10. 特になし	29人	15.3%
無回答	3人	1.6%
全体	414人	

設問18: 区民に世界遺産への親しみをより一層持ってもらうため、どのような取り組みが必要だと思いますか。（複数回答可）

1. 国立西洋美術館と連携した事業	128人	67.7%
2. 地元商店街など地域と連携した事業	61人	32.3%
3. 小中学生への啓発	105人	55.6%
4. 大人が深く学ぶことのできる事業	70人	37.0%
5. SNSを活用した情報提供や事業	64人	33.9%
6. 公共施設・機関における周知	61人	32.3%
7. その他	8人	4.2%
8. 特になし	7人	3.7%
無回答	1人	0.5%
全体	505人	

設問19: 来街者に「世界遺産のあるまち 台東区」をより一層PRするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（複数回答可）

1. ホームページの充実	77人	40.7%
2. SNSを活用した国内外への情報発信	103人	54.5%
3. 観光案内所でのパンフレット配布	99人	52.4%
4. イベントや催し物の開催	101人	53.4%
5. その他	10人	5.3%
無回答	2人	1.1%
全体	392人	

設問20: 今後、区で世界遺産関連事業を行う場合、どのようなテーマを取り上げたらよいと思いますか。（複数回答可）

1. 国立西洋美術館の歴史や世界遺産としての文化的・建築的価値について	127人	67.2%
2. 国立西洋美術館の所蔵作品について	111人	58.7%
3. 世界遺産のしくみや台東区以外の世界遺産について	56人	29.6%
4. ル・コルビュジエの功績等建築について	71人	37.6%
5. 構成7カ国の文化全般（インテリア、料理、音楽等）について	52人	27.5%
6. 文化財保護や景観保全等の継承について	51人	27.0%
7. その他	3人	1.6%
無回答	2人	1.1%
全体	473人	

設問21: 世界文化遺産「国立西洋美術館」の周知啓発・保全活用について、ご意見等がありましたらご記入ください。

【台東区制作番組について】

設問22: 台東区制作番組（区が制作した行政情報番組）をケーブルテレビ11チャンネルで毎日9時、13時、17時、21時から1時間放送しています。番組を見たことがありますか。

1. よく見ている	9人	4.8%
2. たまに見ている	27人	14.3%
3. 見たことがある	47人	24.9%
4. ケーブルテレビに加入・接続しているが見たことがない	19人	10.1%
5. ケーブルテレビに加入・接続していない	86人	45.5%
無回答	1人	0.5%
全体	189人	100.0%

設問23: 設問22で選択肢1～3を選択した方にお伺いします。主にどの時間帯で視聴しますか。

1. 9時～10時	5人	6.0%
2. 13時～14時	18人	21.7%
3. 17時～18時	22人	26.5%
4. 21時～22時	36人	43.4%
無回答	2人	2.4%
全体	83人	100.0%

設問24: 台東区制作番組ではより多くの方にご視聴いただくために、どのような番組制作が必要だと思いますか。(複数回答可)

1. 区の仕事の中で、暮らしに役立つ情報をお知らせする番組	109人	57.7%
2. 区内の様々な福祉情報や施設等を紹介する番組	75人	39.7%
3. 区が行う催し物や事業をお知らせする番組	104人	55.0%
4. 区内の祭やイベントを紹介する番組	116人	61.4%
5. 区内の史跡や文化財を紹介する番組	82人	43.4%
6. 区が現在、直面・取り組んでいる事柄を紹介・説明する番組	64人	33.9%
7. 生涯学習に関することや、社会教育団体等を紹介する番組	46人	24.3%
8. 学校教育に関する取り組み等教育に関する番組	47人	24.9%
9. 区内の産業や経済の現状を伝える番組	46人	24.3%
10. 区議会の活動を伝える番組	45人	23.8%
11. 環境やリサイクルに関する番組	54人	28.6%
12. 区内の様々な地域の特色や、そこに住む人々を紹介する番組	56人	29.6%
13. その他	10人	5.3%
無回答	4人	2.1%
全体	858人	

設問25: 台東区制作番組の一部を台東区公式チャンネル（YouTube）にて配信していますが、知っていますか。

1. 知っている	47人	24.9%
2. 知らない	142人	75.1%
全体	189人	100.0%

設問26: 台東区公式チャンネル（YouTube）を、より多くの方にご視聴いただくために、放送した台東区制作番組の他に、どのようなコンテンツが必要だと思いますか。(複数回答可)

1. 災害時などの緊急情報	121人	64.0%
2. 区長からのメッセージ	30人	15.9%
3. オンラインでの講座、講演会など	86人	45.5%
4. イベント、企画展などのライブ配信	108人	57.1%
5. その他	8人	4.2%
無回答	4人	2.1%
全体	357人	

設問27: 台東区制作番組や台東区公式チャンネル（YouTube）を知ってもらうために、広報たいとうや区公式ホームページで番組情報を発信していますが、その他にどのようなツールでの発信が必要だと思いますか。（複数回答可）

1. メールマガジン	58人	30.7%
2. SNS（ツイッター、インスタグラム、フェイスブックなど）	112人	59.3%
3. メッセージアプリ（LINEなど）	71人	37.6%
4. ニュースアプリ	47人	24.9%
5. その他	17人	9.0%
無回答	6人	3.2%
全体	311人	

設問28: 台東区制作番組について、ご意見等がありましたらご記入ください。

令和2年度 第3回
台東区区政サポーターアンケート調査報告書

編集・発行 令和2年12月
台東区総務部広報課
令和2年度登録第51号